

2022年度選考



公益社団法人日本青年会議所

JCI JAPAN TOYP エントリーシート



性別	男		
ふりがな	まつい けんた		
氏名	松井 健斗		
所属企業・団体名	株式会社カナメヤ	所属企業・団体役職	代表取締役
活動カテゴリー	<input type="checkbox"/> ビジネス、経済、起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理、環境 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年育成、世界平和、人権 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input checked="" type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治、法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input checked="" type="checkbox"/> その他（産学官連携・地域活性）		
活動エリア及び活動内容	<p>名古屋市を拠点に「行政×企業×学生」における新たな産官学の連携を創出し「若者による地域文化の創出」、そしてコロナ禍で失っている学生生活への「“きっかけ”創出」に活動を展開しています。創設した「カナメヤ」には現在18の学生団体、362名の学生が所属しており、東海エリアで最大規模の学生母体を構築中。産学官連携による若者の地域活動促進ロールモデルを創出し、日本全国へ広げていきたいと考えております。</p>		
質問①	<p>Q1. この活動を通してどのような未来を実現したいと考えていますか（ビジョン）</p> <p>若者が自発的且つ当然のように「挑戦可能な文化」を日本中で創出したいと考えています。昨今の時世ではコロナの影響は勿論、学生と企業や行政の懸け橋となる文化が少なく「学生活動不遇の時代」とも言われている。そこで新たな連携支援の形を創出し、「学生活動」に対する環境を整えることで「成功体験/現体験」を提供し「挑戦可能な文化」を創出することで日本中の若者が自身の住む地域の活性に動き出してほしいと考えています。</p>		
質問②	<p>Q2. 未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください（アクション）</p> <p>愛知県内の各大学や団体、学生コミュニティを自身で実際に巡りながら「想い」の持つ学生と300名以上会ってきました。そこではコロナで辛い日々を送り、涙を流す学生も居ました。今を生きる学生たちの想いを見捨てられないと日々考えながら各行政機関や企業群との連携を創出し「カナメヤ」の学生母体プラットフォームを構築しました。また1年間で8つの学生団体を創設、20以上の産学官連携プロジェクトを実行してきました。</p>		
質問③	<p>Q3. あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか（インパクト）</p> <p>「カナメヤ」のプラットフォームを通じて、学生の持つ「発想力」を企業と行政が連携し実現まで導く。結果「若者発」の活発な文化が広がり、産学官連携による地域活性及び関係構築が促進されます。また「成功体験/現体験」を得た学生を一人でも多く創出し、地元の企業へ就職し活躍することで企業の活性。また若者×企業×地域の連携から新たな形の「CSR促進」にも大きく寄与します。日本の未来を担う若者文化の礎を築きます。</p>		
経歴 自己PR	<p>学生時代に名古屋市が運営する600人規模の学生組織の総代表に就任。「名古屋学生万博」を実行委員長として開催し総来場者数2万7000人を記録。NHKをはじめ各メディアに「愛知の若者の本気と想い」として全国区から注目を頂きました。芸能文化の面では観光経済向上事業の一環として「尾張七代藩主 徳川宗春」役を務め、舞台俳優としても東海地方の観光経済向上に従事。名古屋の伝統文化×若者文化を活かした活動も展開。</p>		
活動内容写真			